

# 京都大学医学部附属病院 2022年度第2回医療安全監査報告書

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。なお、昨年度に引き続き、依然として新型コロナウイルス感染者が発生している状況下であることを鑑み、オンラインによる開催としました。

## 1. 監査の方法

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき、京都大学医学部附属病院における医療安全に係る業務の状況について、病院長、医療安全管理部部長等から説明及び資料の提出、閲覧を実施し、質疑応答等の方法によって下記の監査委員が監査を実施しました。

委員長	山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長）
委員	伊藤 英樹（広島大学病院医療安全管理部部長）
委員	佐和 貞治（京都府立医科大学附属病院医療安全推進部部長）
委員	平野 哲郎（立命館大学法科大学院教授）
委員	笠井 正俊（京都大学副学長）

## 2. 監査の実施日

2023年2月6日（月）13:30～16:00

## 3. 監査実施事項

### （1）各責任者の業務の取組みについて

議事に先立ち、医療安全に関する責任者として宮本病院長、平井副病院長（医療安全管理責任者）、寺田薬剤部長より、それぞれの業務について説明がありました。京大病院では宮本病院長、平井副病院長、松村医療安全管理部長が三者会議をおこない、常に職員への医療安全の啓発をおこなっている紹介がありました。ただ課題として、年々職員の業務が増え、リスクの高い高難度治療が増えて治療が複雑化する傾向にあります。インシデントか否かを迷う内容でも報告する方向性で、積極的に振り返るように入力しているものの、マンパワー不足や働き方改革への取組みなども求められています。その中で若い人の教育や人材の充実が必要で、今後は外部資金の調達も視野に入れているとの説明がありました。

医薬品については、ラウンドによって医薬品の管理をし、今年度は投与設定から投与のプロセスチェックを薬剤部スタッフの指示でおこなっているものの、薬剤部から他部署への指示はお願いベースになってしまうため、更なる働きかけの必要性があると感じているとの報告がありました。

宮本病院長からは、医療安全と感染は病院長の心意気と責任を取るリーダーシップを発揮することが肝要で、それによって現場力を上げる努力をおこなっているとの説明がありました。

それらの説明を受けて、質疑応答がおこなわれました。

## (2) 前回報告事項

前回議事要旨について確認をおこない、特に異論はなく承認されました。

## (3) 審議事項

### 1) 2022年度第1回医療安全監査報告書に係る対応について

宮本病院長及び松村医療安全管理部長より、前回の医療安全監査報告書にて指摘があった診療科と医療安全管理部間のコミュニケーションの取り方について、マニュアルを整備し、医療安全管理室に報告すべき事柄について明確化した旨の説明がありました。

### 2) 本院における医療事故対応を踏まえた医療安全管理体制の検証について

造影検査後心肺停止事例と横行結腸がん発見遅れ事例について報告があり、医療安全のプロセスと改善のための取組みが適切であったかを検証しました。

審議の結果、造影検査後心肺停止事例については、プロセスと改善に係る取組みに問題はなく、適切であると判断されました。

横行結腸がん発見遅れ事例については、同様の事例が他の医療機関でも発生しており、プロセスや改善に係る取組みの展開が生じることが予想され、現時点で適切であると判断することは難しいとの結論になりました。そのため、今後も引き続き改善策について検討し、随時報告を求めているかどうかの意見が出されました。

## (4) 報告事項

### 1) 医療安全管理部に求められる業務と現状

荒木看護師長から「点滴刺入部（下腿）の皮膚損傷事例の新規発生報告」、松村医療安全管理部長から「完全型房室中隔欠損症に対する修復術後遺障害残存事例の経過報告」がありました。いずれも対応継続中の案件であるため、次回以降も引き続き経過報告をおこなうことになりました。

### 2) 現時点における主な統計データとして、以下の内容の報告があり、それぞれについて質疑応答をおこないました。

- ・インシデントレポート報告数（2022年7～11月）
- ・死亡患者数（2022年7～11月）
- ・インフォームド・コンセント患者アンケート集計（2022年10月）
- ・医療安全・院内感染対策に関する講習会部署別一覧（2022年11月）
- ・患者相談窓口の相談件数（2022年4～11月）

以上

2023年3月28日

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会  
委員長 山口 育子